



長 丘 っ 子

中野市立 長丘小学校

〒383-0061 長野県中野市壁田 1572
TEL 0269-22-3642 FAX 0269-22-8347
mail nagaoka@nakano-ngn.ed.jp
HP <http://nagaoka.nakano-ngn.ed.jp>

平成 24 年 6 月 13 日 (水)
学校だより No.2



メディア講演会記録

「キミは大丈夫？ーメディア漬けで壊れる子どもたちー」

講師 清川輝基先生

10 日 (日) には、全校駅伝大会や授業参観が行われました。参観終了後には、NHK 放送文化研究所専門委員、NPO「子どもとメディア」代表理事清川輝基先生をお招きして講演会を開催しました。事前にメディアに関わる生活調査の結果をご覧になった清川先生からは、本校の児童の生活実態も交えながら、メディアと脳の発達の関係、体や心の劣化、コミュニケーション能力の低下など、その弊害についてお話いただきました。以下、講演の概略をお伝えします。



ドッジボールのとき、顔でボールを受けてしまったことがある人はいますか。ボールが顔にあたるということ、これは立体視力や距離を脳で測る力が育っていないからです。両目で 0.3 以上視力差がある人は立体的にものをとらえることがむずかしいのです。幼児期から低学年までに視力がどのように備わってくるか。

生まれたばかりの赤ちゃんは、最初ものが見えませんが、しばらくすると目の前にいるお母さんとアイコンタクトがとれるようになります。人生の中で初めて見るのが母親です。このアイコンタクトによって親子の愛着や愛情が生まれます。しかし、赤ちゃんを育てている授乳者への調査では、テレビを見たり、メールを打ったり、あるいはゲームをしながらおっぱいを飲ませている親が 8 割もいることがわかりました。赤ちゃんは、おっぱいを飲みながら母親の目を見る。ところがお母さんはテレビやメールの画面を見ている。赤ちゃんからのアイコンタクトを遮断してしまっている。今、日本の子どもたちはそういう中で育っているのです。

テレビやゲームは平面画面です。この平面画面を見ているときは効き目で見ています。使うものは発達するが、使わないものは発達しない。テレビを見続ける子どもは、効き目だけが発達します。その結果、立体的なもののとらえができなくなり、ボールを受けられないということが起こります。

ここ数十年の間にメディアの種類が急速に増えました。2003 年と 2007 年に世界 30 カ国で行われた電子映像への接触時間数の調査では、2 回とも日本が群を抜いて長いという結果が出ました。テレビやゲーム、携帯などの電子映像メディアに長時間さらされている子どもたちの体や脳は、その発達においてどんな影響を受けているのか、非常に大きな問題です。メディア接触の長い子どもほど、外遊び、読書、おしゃべり、レクリエーション、勉強の時間が減っています。

外遊びをしなくなったことにより体力や運動機能の低下が起こる。日本全体の子どもたちの足の発達が十分でないのは、一日に歩く歩数が圧倒的に減っているからです。50 歳 60 歳になったときに、自分の体を支えられない。今の子どもたちの足の状態を見れば、その恐れが十分にあります。

日本語の力は、日本語を声に出していくことで力が付いていく。それが世界一メディア接触の長い日本の子どもたちには、その力がついていくわけがありません。2011 年、文部科学省は新しい学習指導要領を出しました。その中でもっとも重要であるとしたことは、すべての教科で言葉の力をつけることです。あらゆる教科で言葉の力をつけることを入れざるを得ない状況にあったのです。

目、足、筋肉、言葉の発達の遅れだけでなく、脳が長時間テレビに向き合っていると故障する。感情や欲望をコントロールするはたらきをしているのが前頭前野です。しかし、この前頭前野の脳レベル低下によって感情のブレーキが効かなくなってしまうのです。

「早寝早起き朝ごはん テレビを消して外遊び」の取り組みは、健康な体をつくり、人とのコミュニケーションを通して人間として大切な心を育てるものです。やがて親となるみなさん、どうかこのことを大事に覚えていてください。

(清川先生ご高闊済み)

毎月第2木曜日はノーメディアデー

情報は多くの形で私たちの生活を豊かにしてくれます。一方、電子映像メディア(テレビ・ゲーム・パソコン・携帯)接触の「早期化」「長時間化」が子どもの発達に大きく影響を及ぼすことも明らかになっています。

そこで今年度、長丘小学校では毎月第2木曜日をメディアコントロールの日として、テレビ・ゲーム・携帯等から離れ、読書や学習、お手伝いや家庭団らんの時間を大切にしようという取り組みを始めます。ノーメディアデーを設置することで、子どもたちを取り巻く電子映像メディアを、自らコントロールしていく機会にしたいと考えています。必要である情報は取り入れながら、家庭ごとのできる範囲でご協力をいただければ幸いです。



- ・毎月第2木曜日をノーメディアデー（またはメディアコントロール）の日とし、テレビやゲームの時間をなくしたり、番組の取捨選択によりテレビ視聴の時間を減らしたりする。
- ・ノーメディアデーには、家庭での読書のすすめを積極的に行っていく。第1回の家庭読書への取り組みは、一人読みや保護者による読み聞かせ、読書時間などは各学年、各家庭に委ねるものとする。次回以降、実施の反省をもとに検討していく。
- ・ノーメディアデーでは、家庭読書のほか、家庭学習の充実、お手伝い、家族団らんの時間も含めて考えていく。
- ・ノーメディアデーの取り組みの様子や感想についてアンケート調査を行う。

子どもの生活から



H24.5.23～24 東京・千葉方面への修学旅行に行ってきました。国会議事堂や東京タワーの見学、夜は浅草のもんじゃ焼きで盛り上がりました。翌日はディズニーランドで思いっきり楽しみました。



H24.6.2 保護者の方や地域の皆様のご協力を得て資源回収が行われました。収益金はビン・アルミ缶が24,680円、新聞・雑誌類が88,860円でした。ご協力ありがとうございました。



H24.6.10 恒例の駅伝大会がありました。1年から6年まで6班に分かれて競いました。優勝はオレンジ色チームでした。全員、日頃練習してきた力を出し切り、最後まで元気に走り抜くことができました。



H24.6.12 5年生の田植えが行われました。裸足になって田の中に入ります。田んぼにはカブトエビもいました。田植えの途中、あおぞら・やまびこ学級のお友達からおむすびの差し入れがありました。